

# 平成26年第12回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成26年10月23日(木) 9時30分開会

場 所 瑞浪市役所 全員協議会室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

## 出席委員(5名)

委員長	水 野 昌 代
1 番	加 藤 博 之
2 番	矢 野 元 子
3 番	五 嶋 久 年
4 番(教育長)	平 林 道 博

## 説明のため出席した者の職、氏名

事務局長	伊 藤 正 徳
学校教育課長	小 栗 茂
教育総務課長	酒 井 浩 二
社会教育課長	土 屋 泰 次 郎
スポーツ文化課長	工 藤 将 哉
学校給食センター所長	土 本 典 史

## 職務のため出席した事務局職員

教育総務課総務係長	羽 柴 千 世
〃 主事	長谷川 幸

委員長

9時30分、本日の委員会定例会の開会を宣言する。

—市民憲章朗誦—

日程第1、前回会議録の承認を行う。

平成26年第11回教育委員会定例会の会議録の承認は、1番加藤博之委員と2番矢野元子委員が承認の署名を行う。

—署名—

委員長

日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行う。

本日の会議録署名委員は、委員長において、3番五嶋久年委員と4番平林道博委員の2名を指名する。

委員長

それでは、日程第3、「議第40号 瑞浪北中学校（仮称）ゼロエネルギー化検討委員会設置要綱の制定について」を議題とする。

事務局に説明を求める。

教育総務課長

議案資料により説明する。

委員長

本案について、質疑はあるか。

加藤委員

北中学校がスーパーエコスクール事業の対象校として正式に採択されたのか。

教育総務課長

追加募集があり文部科学省に企画提案書を提出し、採択されている。

加藤委員

国の予算が500万円付いたか。

教育総務課長

基本計画を策定するにあたり500万円計上している。

加藤委員

日建設計が基本策定にあたり、12,500,000円で落札し契約したが、今回の説明の予算500万円の数字の整合性の説明を求める。

また、ゼロエネルギー化の方策について、冷暖房、空調までのエネルギーを自然でまかなう等の計画の方針・方向性の説明を求める。

さらに、空調は取り入れない方針か。

都市部は、教室を空調化している。

夏の暑さや冬の寒さをしのぐのに（電気を使わないことが一番の省エネではあるが）、風通しの良い校舎というだけでは対応しきれない。子どもたちに環境の整った教室で勉強してもらうためには、例えば、断熱性の高い建物を造って、ガラスは複層ガラスにして省エネを図るとしても空調化は1つの方法と捉えられるがいかがなものか。

教育総務課長	<p>スーパーエコスクールの考え方としては、使うエネルギーは使った上で、学校で蓄えた（作った）エネルギー量を使用量と相殺する、使用する電気量等をゼロに近づけていくことである。よって、空調は使わないという考えではなく、できるだけ使わないで済むような設備を造っていきたいと考えている。</p> <p>今回は、大きな基本コンセプトを考える段階であり、空調を使用するか否かを問う段階ではないと考えている。</p>
教育長	<p>エアコンの導入については、現段階では考えていない。</p> <p>北中学校に導入するのであれば、平等の原則から市内の学校についても考えていかねければならない。</p> <p>他市のエアコンの導入については、日本一暑い多治見市は導入しないという考えである。理由は、子ども達を暑さには耐えて頑張る子に育てたいという姿勢があるためである。恵那市は、教室が涼しく外が暑いという温度差が人間の体にとって良くないという考えから導入しない考えである。</p> <p>しかし、今後の課題となるので、教育委員として一緒に考えていただきたい。</p>
五嶋委員	<p>委員就任前の過去の経緯を含めて次のとおり確認する。</p> <p>まず、文部科学省の実証事業の採択はされたということで良いか。</p> <p>次に、初年度の基本計画の策定については初年度の予算額が計上してあるが現在すでに進んでいる事業という解釈でよいか。</p>
教育総務課長	<p>スーパーエコスクール実証事業の採択について過去に申請した自治体が6つあり、平成25年度に採択された自治体が2つあった。</p> <p>500万円は追加分の1校分の予算額である。</p>
五嶋委員	<p>平成27年、28年にも別途予算が付くのか。</p> <p>500万円の予算で3年間事業を実施するのか。</p>
教育総務課長	<p>基本計画そのものは、今年度中に策定しなければならないので、今年度の予算額である。</p> <p>来年度再来年度にかけて基本設計・実施設計を行い、その後建設に着手する。</p>
教育長	<p>国からの補助はあるか。</p>
教育総務課長	<p>実施設計・建設については、実証事業に関わる補助金のメニューを確認しながら進めていく。</p>
教育長	<p>今年度については、500万円が確定しているが、来年度については不確定ということでよいか。</p>

加藤委員	文部科学省の方針としては、策定予算に500万円を計上し、一度採択されるとその後の実施事業についても補助金を支給していくという優位な方向性がある。例えば、太陽光を導入すると2分の1を補助するなど今回採択されたことは当市にとって大変有効に働くこととなる。実行予算が付いていくこととなるのではないか。
教育総務課長	具体的なことは、基本設計する中で確認を取って手続き行う。
五嶋委員	応募件数はわかるか。
教育総務課長	当市だけである。短い期間で一定の形ある書類を作成しなければならないこと、補助金があるといえど多額の予算を計上しなければならない(市が負担する残額が大きい)こと等があり、応募する自治体は少なかったと聞いている
加藤委員	検討委員の中にエネルギーに関しての専門家は、大学の先生2名だけか。
教育総務課長	専門家としては2名だが、コンサルタント業の担当者も委員会に参加する。
教育長	また、環境教育を行っている教員を入れたいと考えている。
委員長	市内にいるか。
教育長	市内にはいないので東濃管内・県内で求めるよう考えている。
委員長	そういう先生に入っていただくことは心強いことである。
五嶋委員	検討委員会は、何回開催する予定か。
教育総務課長	4回開催する。 統合準備委員会の委員で行うワークショップを入れると7回ほど開催することとなる。
加藤委員	それは1年に開催する回数か。
教育総務課長	今年度の3月までである。
委員長	委員会の活動期間はこの3月までか。
加藤委員	3月までに期間が短いですが、基本計画を策定することは可能か。

教育総務課長	策定しなければならない。
矢野委員	専門家の意見を聞いてより良いものを策定していただきたい。
教育長	タイトな期間での事務処理となる。委員の応援をよろしくお願いしたい。
五嶋委員	ワークショップに生徒を参加させることは可能か。 今後、それをきっかけにいろんなことに目覚めることがある。 専門家の意見を直接聞くことは、勉強になる
教育総務課長	想定してなかったが、検討してみることにする。 将来入学する小学生がいいか、現在の中学生がいいかも含めて検討する。
教育長	子どもを参加させることは良い考えである。
委員長	ほかに何か質疑はあるか。
各委員	—質疑なし—
委員長	それでは、質疑を終結し採決を行う。 「議第40号 瑞浪北中学校（仮称）ゼロエネルギー化検討委員会設置要綱の制定について」を原案のとおり承認することに異議はないか。
各委員	—異議なし—
委員長	ご異議ないものと認める。よって、「議第40号」は、原案のとおり決する。
委員長	つづいて、「議第41号 瑞浪市児童生徒学業支援員配置要綱の一部を改正する訓令の制定について」を議題とする。 事務局に説明を求める。
学校教育課長	議案資料により説明する。
委員長	本案について、質疑はあるか。
加藤委員	教職免許が1,000円、その他は800円について、実際に働いている方から、賃金が低いと言ったような意見は聞かないか。
学校教育課長	学校の現場からそのような意見を聞いたことはない。
五嶋委員	教職員は県から、学業支援員は市の教育委員会が派遣するのか。

学校教育課長	教職員は県費で、支援員は市費で市単独で雇用している。
五嶋委員	求人方法はどのようなか。
学校教育課長	毎年、年明けに広報に募集記事を掲載している。 現に採用している方は、学校長を通して来年度以降の採用の案内をしている。
委員長	毎年継続されて雇用されている方がいるか。
学校教育課長	市臨時職員等の雇用、労働条件等に関する要綱に基づき、基本1年契約とし、教員免許保有者は5年、無い方は3年を最長として雇用している。
五嶋委員	対象者の条件を絞ることで募集が少なくなるといった心配はないか。  他市も同様に市費で募集されているので、他市へ散っていく懸念はある。
加藤委員	陶小研究発表会での子ども達は落ち着いてやっているように見受けられたが、実際は多動児童などで学校は支援員の配置の要望が強い。市の当局への予算措置を要望する。
委員長	支援員に頼っている先生方は多く、学校の現場での支援員配置の要望は強い。 今回のように改正されて条件を絞ると現場の要望に逆行した形となるようで心配である。もっと採用していただけるようにしていただきたい。
学校教育課	学校現場のヒアリングを行い実情に合わせて、予算要望をしていくこととする。
委員長	ほかに何か質疑はあるか。
各委員	—質疑なし。—
委員長	それでは、質疑を終結し採決を行う。 「議第41号 瑞浪市児童生徒学業支援員配置要綱の一部を改正する訓令の制定について」を原案のとおり承認することに異議はないか。
各委員	—異議なし—
委員長	異議ないものと認める。よって、「議第41号」は、原案のとおり決する。

委員長 つづいて、「議第42号 瑞浪市陶磁器資料館の休館日の追加について」を議題とする。  
事務局に説明を求める。

スポーツ文化課長 議案資料により説明する。

委員長 本案について、質疑はあるか。

各委員 —質疑なし—

—異議なし—

それでは、質疑を終結し採決を行う。  
「議第42号 瑞浪市陶磁器資料館の休館日の追加について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

—異議なし—

委員長 異議ないものと認める。よって、「議第42号」は、原案のとおり決する。

以上で本定例会に提出されたすべての議案の審議が終わり、本日の日程が終了したので、これにて、平成26年第12回瑞浪市教育委員会定例会を閉会する。

10時20分終了